

# 国際協力の現場を語る

JICA(ジャイカ:国際協力機構)は開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア(40歳~69歳)を途上国に「シニア海外ボランティア」として派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行などでの体験とは違った貴重な体験をしてくれています。そんな話題も含めて体験を語って頂きます。

日時:毎月第3水曜日 15時30分~17時

会場:JICA横浜 1階会議室または4階セミナールームなど

会費:無料(どなたでも自由に参加出来ます)

主催:NPO「シニアボランティア経験を活かす会」

後援:JICA横浜

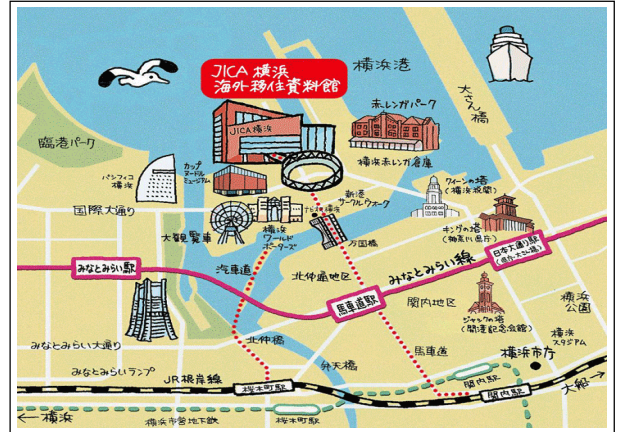
(やむを得ず日時・会場が変更される場合があります。事前にシニアボランティア経験を活かす会ホームページまたは下記問い合わせ先に確認して下さい。)

台風等により中止となった場合は、中止された発表講演は翌月の第1水曜日の15:30~17:00に延期します。)

問合せ先:横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜3階 国際協力連絡室内  
シニアボランティア経験を活かす会 水曜会

Fax:045-663-3263 担当:森岡 潔(046-849-9938)

URL [jicasvob.com](http://jicasvob.com) E-mail [info@jicasvob.com](mailto:info@jicasvob.com)



赴任国(講師名)	「タイトル」	講演概要
第143回 7月19日 (水) パラグアイ (広内俊夫)		「パラグアイに見る「新たな日系社会の創造」の息吹」 近年、パラグアイは「南米の秘宝」と呼ばれ、経済発展の著しい国です。この発展に貢献した日系社会は2016年日本人移住80周年を迎えました。私は同年8月~11月、パラグアイを10年振りに訪問。変貌を遂げるパラグアイと日系社会を見て回り、二世、三世による新たな日系社会の創造の息吹を目の当たりにしました。躍進するパラグアイについての最新情報、併せて、国家形成と移民の役割などをお話したいと思います。
第144回 8月16日 (水) モロッコ (長田正徳)		「モロッコ武道文化を尊重し、武道に対する基本的な心構えを指導」 モロッコは、国内全般に亘り、スポーツ空手道の人気が高く、各地域には、武道を習得する青少年も多く、修行道場も多数あります。現地の若手指導員達と協働しながら、空手道の基本技、武道の基本的姿勢を共有し、同国の武道文化の更なる発展と競技力向上を図りました。今回の活動はボランティアとして諸々学ぶ事が多かった良い期間でありました。また私が実際に訪れた各地域の観光スポットも併せて紹介します。
第145回 9月20日 (水) ボリビア (五味 茂)		「ボリビアで医療機器保守管理技師は育つのか!」 母子保健医療プロジェクト等で、多くの医療機器が長期にわたってボリビアの医療施設に援助されていますが、医療機器の保守管理ができていません。国立医療専門学校で、医療機器保守管理技師養成の新課程の授業内容及び指導法の質の向上を図りました。また実技実習を5倍にして、医療現場で役に立つ技術の実践を行いました。幸せの高原都市コチャバンバの生活などの話もします。
第146回 10月18日 (水) パナマ (川田拓司)		「小学校の先生をめざす生徒たちと」 文化の違いや言葉の不自由さに戸惑いながらも、パナマ運河拡張工事の完成式典でおおいに盛り上がる場面を見ることができたり、ラテン人気質のおおらかで親切な同僚、生徒、ホストファミリー等との交流もあり、2年間の活動期間を楽しみながら過ごすことができました。パナマとはどんな国か、理科教育ボランティアとして配属先の小学校教員養成学校でどんな活動をしていたかについて紹介します。
第147回 11月15日 (水) ボリビア (山室幸之助)		「ボリビアの大学生と電気工学の実験を楽しむ」 要請内容は国立大学電気工学科で、電気の実験指導、新しい実験棟の実験器具の提案、秋に開催される展示会(Expo)プロジェクトへの支援業務でした。実験器具・測定器具が少ない環境の中で学生たちと一緒に実施した電気の実験、展示会への出品企画から回路制作・実験ならびにロボット制作・マイコン制作指導と、小学生への理科の実験などの活動内容について発表します。